

○ 秋田県条件付き一般競争入札公告【最低制限価格適用】

次のとおり条件付き一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和２２年政令第１６号）第１６７条の６の規定により公告する。

令和８年２月２７日

秋田県立能代高等学校長 平川 研

この入札には最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る入札が行われた場合は、当該入札をした者は落札候補者になれないことに注意をすること。

１ 入札に付する事項

- （１）委 託 名 浄化槽保守維持管理業務委託【主たる業務】：浄化槽の保守点検及び清掃等
- （２）委 託 場 所 能代市二ツ井町字五千苅２０番地１ 能代高等学校 定時制課程
- （３）委 託 期 間 令和８年４月１日から令和９年３月３１日まで
- （４）委 託 概 要 能代高等学校 定時制課程が管理する浄化槽の保守点検及び清掃等
- （５）長期継続契約 この入札に係る契約は、地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３４条の３及び地方自治法施行令第１６７条の１７並びに長期継続契約を締結することができる契約を定める条例（平成１８年秋田県条例第９号）に基づく長期継続契約であるため、当該契約を締結した日に属する年度の翌年度の歳入歳出予算において、当該契約に係る金額について減額又は削除があった場合には、この契約を解除又は変更することがある。この場合において契約の相手方は、契約の解除又は変更により生じた損害の賠償を秋田県に対し請求することができない。

２ 入札参加資格

入札に参加する資格を有する者は、次のすべての要件を満たしている者とする。

- （１） 地方自治法施行令第１６７条の４の規定に該当しない者であること。
- （２） 秋田県暴力団排除条例（平成２３年秋田県条例第２９号）第６条に規定する暴力団員又は暴力団と密接な関係が有る者に該当しないこと。
- （３） 会社更生法（平成１４年法律第１５４号）に基づく更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成１１年法律第２２５号）に基づく民事再生手続開始の申立てがなされている者（手続開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。
- （４） 秋田県税に滞納がない者であること及び社会保険に加入し、かつ社会保険料に滞納がない者（適用除外事業所を除く。）であること。
- （５） 公告日現在、庁舎等の維持管理業務についての一般競争入札及び指名競争入札に参加する者に必要な資格（平成２２年６月１日公示）により定めた庁舎維持管理業者登録名簿に登録されていること。
 - ① 希望する業務として「浄化槽設備保守管理」に登録していること。
 - ② 契約履行が可能な地域として「山本地域振興局管内」に登録していること。
- （６） 秋田県内に本社を有していること。
- （７） 秋田県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例（昭和６０年秋田県条例第３３号）第２条第１項の規定に基づき、能代市（旧二ツ井町）を営業区域として浄化槽保守点検業の登録を秋田県知事から受けていること。
- （８） 浄化槽法（昭和５８年法律第４３号）第３５条第１項の規定に基づき、浄化槽清掃業の許可を能代市長から受けていること。
- （９） 本委託を遂行するための秋田県内在住の有資格者（浄化槽法（昭和５８年法律第４３号）第２条第１１号の規定による浄化槽管理士の資格を有する技術者）を雇用しており、業務責任者として配置できること。

3 入札参加資格確認申請書等の提出

- (1) 入札に参加しようとする者は、能代高等学校定時制課程ホームページ（以下「HP」という。）に掲載並びに能代高等学校定時制課程事務室及び同校全日制課程事務室にて配布する入札参加資格確認申請書等の書類を次により提出しなければならない。

① 提出書類等

- ア 入札参加資格確認申請書（様式第1号）
- イ 誓約書（様式第2号）
- ウ 履歴事項全部証明書の写し若しくは秋田県内に本社があることを証明する書類の写し
個人の場合は、住民票の写し
- エ 浄化槽保守点検業者登録を受けていることを証明する書類の写し
- オ 浄化槽清掃業許可証の写し
- カ 入札参加資格で定められた配置予定者の資格証の写し及び雇用関係を確認できる書類等の写し（保険証の写し等）

② 提出期間

公告の日から令和8年3月16日（月）まで。ただし、秋田県の休日を定める条例（平成元年秋田県条例第29号）第1条第1項に規定する県の休日を除く。

③ 提出時間

午前9時から午後4時まで

④ 提出場所

能代高等学校 全日制課程 事務室（〒016-0184 能代市字高埜2番地の1）

⑤ 提出部数

1部

⑥ 入札参加資格確認申請書の配布

公告の日から令和8年3月16日（月）まで、HPに掲載並びに能代高等学校定時制課程事務室及び同校全日制課程事務室において配布する。

- (2) 入札参加資格の確認は、開札後に、原則として、落札者とするための確認を行う必要がある入札参加者（以下「落札候補者」という。）について行い、その他の者については、確認は行わないものとする。
- (3) 入札参加資格確認申請書を提出した者は、当該申請書を提出したあと落札者が決定されるまでの間において入札参加資格を有しないこととなったときは、開札前にあっては入札辞退届を、開札後にあってはその旨を記載した届出書を速やかに提出しなければならない。

4 設計図書等の閲覧及びその写しの配布

本委託に係る仕様書、契約書案、金額を記載しない内訳書等（以下「設計図書等」という。）の閲覧及びその写しの配布については、公告の日から令和8年3月16日（月）午後4時までHPに掲載並びに能代高等学校定時制課程事務室及び同校全日制課程事務室において行う。

5 設計図書等に対する質問及び回答

- (1) 設計図書等に対する質問は、令和8年3月10日（火）午後1時までに秋田県立能代高等学校長に書面により行わなければならない。
- (2) 上記質問に対する回答は、令和8年3月13日（金）午後4時までに書面により4で定める閲覧方法で行う。

6 入札保証金

免除する。

7 契約保証金

落札者は、契約締結にあたり契約金額の10分の1以上の金額を保証する次に掲げる契約の保証の一を付さなければならない。

- (1) 契約保証金の納付

- (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券の提供
- (3) 銀行等又は保証事業会社の保証
- (4) 履行保証保険契約の締結

8 契約保証金の免除

落札者は、契約締結までに次のいずれかの書類を提出し契約保証金の全部又は一部の免除を申し出ることができる。この場合において免除が認められたときは、その契約保証金の納付を要しない。

- (1) 秋田県立能代高等学校長を被保険者とする履行保証保険契約書
- (2) 過去2年の間に国又は地方公共団体と締結した種類及び規模をほぼ同じくする2件以上の業務委託契約書の写し及びその履行を確認できる書類の写し

9 入札書等の提出等

(1) 提出方法

3により入札参加資格確認申請書を提出した者は、開札予定日時に能代高等学校 全日制課程物理室に入札書及び積算内訳書を持参し提出するとともに、開札に立ち会わなければならない。

※入札書及び積算内訳書は封筒に入れ、その封筒に「入札者の法人名等」、「開札日」並びに「委託名：浄化槽保守維持管理業務委託」を記載のうえ提出すること

(2) 開札予定日時

令和8年3月18日（水）午前11時00分

(3) 入札書に記載する金額

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札金額とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(4) その他

- ① 入札執行回数は、2回までとする。ただし、1回目の入札において最低制限価格を下回る入札を行った者は2回目の入札に参加できない。
- ② 入札参加者が1者であった場合であっても、入札を執行するものとする。

10 落札者の決定方法

- (1) 予定価格の範囲内で最低制限価格以上の価格で入札した者のうち、入札価格が最も低い者を落札候補者とする。この場合において、該当する者が2者以上であるときは、くじの方法により順位を決定し、最上位者を落札候補者とする。
- (2) (1)の落札候補者について入札参加資格の確認を行い、資格を有することが確認された場合は当該落札候補者を落札者とする。ただし、落札候補者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認められる場合は落札者として決定しない。
- (3) (2)によって落札者が決定しなかった場合は、予定価格の範囲内で最低制限価格以上の入札した者のうち、入札価格が当該落札候補者の次に低い者（該当する者が2者以上である場合は(1)後段の方法により最上位者を決定する。ただし、当該落札候補者がくじにより決定された者である場合は当該くじの次順位者とする。）を落札候補者とし、(2)の確認等を行うものとする。
- (4) 落札者が決定するまで、上記方法を順次繰り返すものとする。
- (5) 契約担当者は、(2)において落札候補者が入札参加資格を有しないことと決定したときは、当該落札候補者に対し、資格なしと決定された理由を明らかにした資格確認結果通知書を速やかに通知する。
- (6) (5)の通知を受けた者は、当該通知の日の翌日から起算して2日（秋田県の休日を定める条例（平成元年秋田県条例第29号）第1条第1項に規定する県の休日（以下「休日」という。）を含まない。）以内に、契約担当者に対して書面により資格なしと決定された理由についての説明を請求することができる。なお、(5)の通知を受けた者は、当該請求をしなかった場合に

あつては、入札結果の公表が行われた日の翌日から起算して１０日（休日を含まない。）以内に、契約担当者に対して苦情の申し立てを行うことが出来る。

（７） 落札者となった者は、次に掲げる書面を速やかに提出しなければならない。

- ① 秋田県税に滞納がないことを証する書面の原本又は写し（ただし、書面の発行日が入札公告の日以降のものに限る）
- ② 社会保険料に滞納がないことの確認を受けた書面の原本又は写し（ただし、書面の発行日が入札公告の日の属する月の初日以降のものに限る。）

11 入札の無効

次のいずれかに該当する入札は無効とする。

- （１） 入札参加資格がないことが確認された者のした入札
- （２） 開札日から落札決定の日までの間において、２に掲げる要件を満たさないこととなったことが確認された者のした入札
- （３） 同一の入札について２以上の入札をした者の入札
- （４） 同一の入札について２人以上の入札者の代理人となった者の入札
- （５） 談合その他不正の行為によって行われたと認められる入札
- （６） 入札書の記載事項が脱落し、若しくは不明瞭で判読できない入札又は首標金額を訂正した入札
- （７） 委任状を持参しない代理人のした入札
- （８） 記名押印を欠く入札
- （９） 入札書を提出した者のうち開札に立ち会わなかった者のした入札
- （１０） 上記に定めるもののほか、指示した条件に違反すると認められる入札

12 その他

- （１） 入札に関する説明会及び現場説明会は、実施しない。
- （２） 入札参加資格に関するヒアリングは、実施しない。ただし、必要と認めた場合には説明を求めることがある。
- （３） 提出された入札参加資格確認申請書等は、返却しない。なお、入札参加資格確認申請書等を公表し、又は無断で使用することはしない。
- （４） 入札参加資格確認申請書等の作成に要する費用は、提出者の負担とする。
- （５） 委託期間は、事情により変更することがある。
- （６） 入札参加者は、設計図書等を熟知し、入札にあたっての留意事項を遵守しなければならない。
- （７） 落札決定から契約締結までの間において、落札者が２に掲げる要件を満たさないこととなった場合は、契約担当者は、当該落札者と契約を締結しないことができる。
- （８） 本公告に定めのない事項については、地方自治法、地方自治法施行令、秋田県財務規則の定めるところによる。

13 問い合わせ先

課 所 名 能代高等学校 全日制課程 事務室
住 所 秋田県能代市字高埴２番地の１
電話番号 ０１８５－５４－２２３０